

「あさひふれあい通りの将来像を考える」

第6回ワークショップを開催しました！



第6回ワークショップ（12月7日）概要



ワークショップの様子

柏市では、柏駅周辺の街の魅力度とポテンシャルの向上等を目指して、「柏駅周辺まちづくり10カ年計画」を策定し、駅周辺の各「通り」の将来イメージを沿道の方々と一緒に検討するワークショップを昨年度より開催しています。

第6回となる今回は、安全とにぎわいが両立する通り環境を生む道路イメージ、一体感が感じられる居心地のよい街並みイメージなどについての議論を行いました。

第6回ワークショップの内容

街並み づくり について	通りづくり について	計画案 について	電線類 地中化 について
--------------------	---------------	-------------	--------------------

街並みの統一感づくりについて

■ 一体感があり居心地のよい街並みイメージの検討

アイコン・看板から始める統一感づくり



- ・適度なサイズでじゃまにならないアイコンで統一感を出す
- ・補助金を活用し、商店会に入っているお店に無料でアイコンを設置できるようにすれば、参加店も増えそう
- ・アイコンの位置を統一し、大きさには許容幅を持たせるとよい



- ・看板の照明をLEDにして、明るく賑やかな雰囲気を通りにしたい
- ・照明の色を暖色系に統一したい
→完全に統一は難しいかも（例：コンビニ）
- ・薄暗く感じないように、照度の調整が必要

統一感を出すための建物外観ルールづくりに向けて



- ・今後取り組みを広げていくために、外観ルール作りをしたいが、構想を練るのは難しい
- ・電柱がなくなった後の通りのイメージを考える必要が

・形・大きさ・色の統一などの看板ルールづくりはみんなの同意が得られないと難しい

・統一感づくりのための「一店舗一緑」の取り組みは、まずは既存の店から行っていきたい